

# 連携

栗原市立栗原中央病院

広報誌 平成28年8月発行

編集：地域医療連携室

## 第59号

### 病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

### 基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

## 第3回 市民ふれあい祭り 2016 御越し頂き有難うございました

市民ふれあい祭り 2016 実行委員長 石田 健司



「市民ふれあい祭り」が、2016年7月23日に行われました。2014年から引き続き、3回目の開催となりました。今年も約1,300名の市民の方々にお集まり頂き、参加人数も年々増えています。ご参加頂き、有難うございました。楽しんで頂けましたでしょうか？



このイベントは、その名前が示す通り、市民の方々と「ふれあい」、当院を身近な病院として認識して頂き、「地域と密着した病院」に成長させて頂くことにあります。

ふれあう場所として、今年も20のブースが設けられました。メインステージでは、「くりくり保育園」児による歌とおゆうぎに始まり、優美なフラサークル「マハロ」のフラダンス、魂を揺れ動かす白鷺太鼓、1階フロアに響き渡った「朴の木コーラス」の美しい歌声、そして熱気に満ち溢れた「よさこい」が、披露されました。

メインステージのイベントのほかに、19のブースが準備されました。医師、歯科衛生士、栄養士、

レントゲン技師、看護師、理学療法士、作業療法士、消防署の方々、市役所の職員の方々の、趣向凝らした種々のブースが設置され、こちらも凄いにぎわいを見せていました。本年から初めて、歯科衛生士さんの歯科相談も開設され、誤嚥性肺炎の予防に貢献できるものと期待しています。

また今年もご参加頂いた、栗原市消防署の方々の消防車・救急車体験試乗、更に救命救急として人形を使った心肺蘇生法・AED体験、そして築館高校のボランティア部の皆様には、縁日の運営さらには各ブースのお手伝いをして頂き、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

この「お祭り」は、当院職員の手作りのお祭りゆえ、行き届かない点も多数あると存じますが、来年、再来年と会を重ねるごとに、内容を更に一層充実させ、市民の皆様にも愛される「地域と密着した病院」に成長できるように、着実に一歩ずつ歩んで行きたいと思えます。有難うございました。





# 栗原市立栗原中央病院 第3回市民ふれあい祭り 2016

～地域と密着した病院を目指して～



平成28年7月23日（土）に栗原市立栗原中央病院 第3回市民ふれあい祭りが行われました。今年の来場者は約1300人！たくさんの市民のみなさんと“ふれあい”を大切に楽しい一日を過ごす事ができました。

来場者から頂いたご意見には「毎年、実施して頂ければ健康について考えるきっかけになります。」「子供向けのブースもあり楽しめまし

た。」「救命救急のブースが良かったです。初動救命の大切さを学びました。」「築館高校のボランティア、とても頼もしく思えました。」などの嬉しいお言葉のほか、来年に向けての課題も頂きました。

今後も地域と密着した病院を目指して、市民と共により良い病院づくりをしていきたいと思ひます。



くりくり保育園



フラサークル マハロ

朴の木コーラス



白鷺太鼓鷺鳴会

栗原中央病院よさこい



築高ボランティア部 縁日



医師による健康相談



手洗いの達人になろう



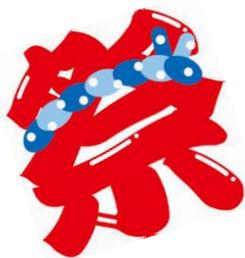
助産師カフェ



歯科衛生士による歯科相談



レッツTRY! 救命救急



栄養・口腔ケアコーナー



血管年齢測定コーナー



ご来場くださいました市民のみなさま、ご協力くださいましたボランティアのみなさま、大変ありがとうございました。



## 地域の先生から

### くりはら訪問クリニック

院長 斉藤 群大先生

当院は約2年前に開業した比較的新しいクリニックです。「訪問クリニック」と掲げている通り、訪問診療を主な業務としています。寝たきりに限らず様々な事情で通院が難しい患者さんを対象に、ご自宅や入所中の施設を回って患者さんを診て歩くという診療スタイルです（「訪問診療」以外にも、「訪問看護」や「訪問リハビリ」もかなりアクティブに行っております）。



現在当院の訪問診療を受けている患者さんは約150名で、状態の安定している方から、酸素吸入や人工呼吸器、中心静脈栄養などの日常的な医学管理が必要な方、末期がんに伴う症状を和らげながら療養している方、老衰などで穏やかな看取りへと向かっている方まで、様々な患者さんの医療ニーズに対応しています。イメージとしては、半径16kmの診療圏内に散らばった130~140床程度の療

養病棟と10~20床程度のホスピス病棟を持っている状態というわかりやすいかと思います。スタッフも医師2名、看護師3名、理学療法士2名と少しずつ充実してきており、質の高い在宅医療をより安定的に提供できる状況になってきました。



もちろん24時間体制ですので、深夜・早朝、土日祝日なども関係なく、受け持ち患者さんの臨時・緊急の往診依頼にもすべて対応しています。とは言っても在宅医療で解決できることばかりではなく、その場合は病院との「連携」が大事になってきますが、当院はこの「連携」の問題で苦労したというような経験がないので、非常にうまく行っているのではないかと考えています。栗原中央病院さんを始め、どの病院さんも快く患者さんを受け入れてくださるので本当に助かっています。



今後も、患者さんやご家族のみならず、連携医療機関、介護福祉系、行政機関の方々に対しても「迅速な対応」「丁寧な対応」「誠実な対応」をモットーに、さらに信頼される医療機関を目指して精進して参りたいと考えております。



お知らせ

### 「嚥下(飲みこみ)評価・栄養・食事指導入院」はじめました♪

当院では、飲み込みに障害のある方を対象に嚥下機能全般について評価を行います。口から安全に食べられるようご本人様・ご家族様にアドバイスさせて頂き、今後の栄養管理や誤嚥の予防に役立たせることを目的とした入院です。なお、検査は「嚥下造影検査」を含む予約入院(4泊5日)として行います。

詳しくは、[当院ホームページ](#)をご覧ください



## 《学会・研修会・論文発表》

### ☆The13<sup>th</sup>International Congress of Shoulder and Elbow Surgery

May18<sup>th</sup>(Wed)-20<sup>th</sup>(Fri),2016, ICC JEJU,KOREA

『Effect of friction of suture anchors on the “deadman angle theory”  
: A biomechanical study.』

…Hideaki NAGAMOTO<sup>1</sup>, Nobuyuki YAMAMOTO<sup>2</sup> and Eiji ITOI<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Department of Orthopaedic Surgery, Kurihara Central Hospital, Japan, <sup>2</sup>Department of Orthopaedic Surgery,

Tohoku University School of Medicine, Japan



### ☆第59回日本糖尿病学会年次学術集会 2016.5.19-21 — 京都市 —

『多彩な合併症あり, コントロール不良 2 型糖尿病におけるリラグルチドの効用  
— 体重, 血糖, 肝腎機能, 併用薬剤, 副作用の検討—』

…木田真美, 鈴木慎二, 小西秀知, 吉越仁美, 内海さやか, 佐藤修一, 小泉 勝

『当院における GAD 抗体陽性高齢糖尿病患者に関する実態調査』

…吉越仁美, 鈴木慎二, 木田真美, 内海さやか, 佐藤修一, 小泉 勝

### ☆第72回日本放射線技術学会総合学術大会 2016.4.14-17 — 横浜市 —

『Comparison between Apparent T2 Decay and Modulation Transfer Function  
in Turbo Spin Echo Sequences with Low Refocusing Flip Angles』

…Rei Yoshida<sup>1,2</sup>, Osamu Sone<sup>3</sup>, Yoshio Machida<sup>1</sup>, and Takeo Hikichi<sup>2</sup>

Tohoku University Graduate School of Medicine 2. Kurihara Central Hospital 3. Sendai Kousei Hospital

### ☆第53回日本リハビリテーション医学会学術集会 2016.6.9-11 — 京都市 —

『運動器の2次介護予防対象者への在宅訓練支援の意義と効果』

…石田健司

### ☆第22回日本ヘリコバクター学会学術集会 2016.6.24-26 — 別府市 —

『H.pylori 除菌療法におけるポノプラザンの使用経験と再除菌療法への有効性の検討』

…永友宏史, 小西秀知

### ☆第28回日本運動器学会学術集会 2016.7.8-10 — 会津若松市 —

\* 石田副院長先生が座長を務められました。

### ☆第14回日本臨床腫瘍学会学術集会 2016.7.28-30 — 神戸市 —

『mFOLFOX-6/Cetuximab 療法が奏功した直腸癌による播腫性骨髄癌腫症の1例』

…佐野貴紀 (栗原市立栗原中央病院 内科/仙台医療センター 腫瘍内科)

### ☆第66回日本病院学会 2016.6.23 — 盛岡市 —

『糖尿病患者のフットケアに対する意識調査 ～フットケアの意識向上を目指した指導方法の検討～』

…高橋 恵, 高橋一子, 松井栄里香, 上野賀子, 佐々木久美子, 鈴木洋子

### ☆日本医療マネジメント学会宮城県支部第10回学術集会 2016.7.23 — 大崎市 —

『輸液ポンプ・シリンジポンプのインシデント低減を目指して ～リンクナースの育成～』

…阿部明美

\* 千葉由美子副看護部長が医療安全セッションで座長を務められました。

## 編集後記



今年も「市民ふれあい祭り 2016」  
が盛大に開催されました。たくさんの  
市民のみなさんと楽しい時間を過ご  
す事ができて本当によかったです。

〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

栗原市立栗原中央病院 (代表) TEL : 0228-21-5330 FAX : 0228-21-5350

<http://www.kurihara-central-hp.jp/>

地域医療連携室 (直通) TEL : 0228-21-5335 FAX : 0228-21-5336

